文部科学省　令和 7(2025)年度ユネスコ未来共創プラットフォーム for 2030
～UNESCOnnect～ 事業

第 4 回ユネスコウィーク　国際シンポジウム
「ジオパーク×教育　－共創する学びの場－」
開催要項

1.　背景

ジオパークは、地域の地質遺産や景観と文化、動植物、そして人々の営みとの繋がりや価値を発見し、楽しく学ぶ機会を提供する場である。近年、教育関係者とジオパーク関係者が連携し、地球科学、環境教育、防災教育、文化遺産、地域社会をつなげた新たな学習プログラムが数多く生まれている。これらの取組は、学習者の探究心を育み、持続可能な社会を考える力や地域への理解・愛着を深める「生きた学び」を体現するものである。

気候変動や生物多様性の喪失、地域の持続性など、社会が複雑な課題に直面するなか、ジオパークには体験的かつ変容的な学びの場として、その可能性が期待されている。科学的知見と地域の知恵を融合し、共に学ぶことは、次世代が地球を大切にし、地域の未来をともに描いていく力につながる。

一方、2020 年に文部科学省委託事業として設立された「ユネスコ未来共創プラットフォーム」では、ユネスコの理念のもと、世代、地域、専門分野を超えた連携を促進し、持続可能性をさまざまな切り口から追求するユネスコ活動の推進を目的としている。

第4回ユネスコウィークの一環として開催される本シンポジウムでは、ジオパーク関係者、教育関係者、研究者そして行政など多様な主体が一堂に会し、これまでの実践を共有しながら、共創による新たな学びの可能性を探る。

2.　目的

本シンポジウムは、ジオパーク関係者と教育関係者の協働により生まれた学習プログラムの実践を共有し、その連携モデルの有効性を示すことを目的とする。また、ジオパークを「生きた教室」として捉え、探究心や持続可能性の視点を育む教育的価値を明らかにする。さらに、教育機関やジオパーク運営団体、自治体、研究者、地域住民など、多様な主体が共に学びを創出するためのアプローチを検討し、教育現場での活用に向けた課題と可能性を整理する。そのうえで、こうした実践をより広く展開するための方策について議論し、国内外のネットワークを強化して、今後の交流や共同プロジェクト、好事例の集積と共有・増加につなげていくことを目指す。

3.　日程及び開催形態

2025 年 12 月 11 日(木)　18:00～20:00

Zoom ウェビナー （参加登録者された方へ Zoom リンクをお送りします。）

4.　対象者

本イベントは活動分野や年齢、国籍、居住地は問わず、すべての方を対象とします。

- 仕事や私生活においてユネスコ活動に従事している個人や団体
- 教育、科学、文化等のユネスコの活動分野やユネスコに関心のある個人や団体
- ユネスコ活動への直接的な関与はないが、持続可能な社会づくりや社会貢献活動等に関心がある、あるいは従事している個人や団体

特に、ジオパークへの新規申請にご関心をお持ちの自治体関係者、ジオパークとの連携を希望する教育機関関係者の参加を歓迎します。

5.　言語

日本語及び英語 （Zoom 画面上より日英同時通訳をご利用いただけます）

6.　参加申込

参加費　　無料

受付期間　～12 月 7 日(日)

方法　　特設サイト上のオンラインフォームより登録

https: //unesco-sdgs.mext.go.jp/unesco-week-04

7.　当日プログラム

時間	内容
17:50-18:00	Zoom 入室
18:00-18:05	オープニング 開会挨拶　岩佐敬昭（文部科学省国際統括官付　国際交渉分析官／日本ユネスコ国内委員会　副事務総長）
18:05-18:20	イントロダクション 「ジオパークと教育：持続可能な未来へ向けたキャパシティ構築」 Arthur Sa（世界ジオパークネットワーク　会長） 世界ジオパークネットワーク（GGN）会長であり、ポルトガルのトラズ＝オス＝モンテス・アンド・アルト・ドウロ大学地質学科准教授（終身）。地球科学と地域社会の幸福、持続可能な開発を結びつけることに長年尽力し、「ジオパーク、持続可能な地域開発、健康的なライフスタイル」に関するユネスコチェアのチェアホルダーを務める。 世界各地のユネスコ世界ジオパークにおける評価および再認定ミッションに多数参加の経験を持つ。ユネスコ国際地球科学計画（IGCP）のポルトガル国内委員会の委員長を務める。
18:20-18:35	実践発表【日本】 「“何もない”が、“学び”に変わる　～室戸ユネスコ世界ジオパークで育む地域愛」 杉尾　智子（室戸ユネスコ世界ジオパーク　国際交流専門員）
18:35-18:50	実践発表【ルーマニア】 「ユネスコプログラムの相乗効果　～学びの“生きた景観”としてのジオパーク」 Irina Tirdea（Buzău Land ユネスコ世界ジオパーク　事務総長）
18:50-19:05	実践発表【韓国】 「青松ユネスコ世界ジオパークにおけるジオ教育のための学校と地域のパートナーシップ」 Seong-ok Ju （青松（チョンソン）ユネスコ世界ジオパーク　ジオパークマネージャー）
19:05-19:20	実践発表【ギリシャ】 「大地とともに学び、持続可能な未来を築くための教育実践　～レスボス島ユネスコ世界ジオパークにおける事例」 Konstantina Bentana （レスボス島ユネスコ世界ジオパーク　教育担当チーフ）
19:20-19:55	ラウンドテーブル

	＜モデレータ＞ 古澤 加奈（日本ジオパークネットワーク 事務局長） ＜パネリスト＞ ※順不同 杉尾 智子（室戸ユネスコ世界ジオパーク） Irina Tirdea（Buzău Land ユネスコ世界ジオパーク） Seong-ok Ju（青松(チョンソン)ユネスコ世界ジオパーク） Konstantina Bentana（レスボス島ユネスコ世界ジオパーク） 永田 紘樹（阿蘇ユネスコ世界ジオパーク 事務局長） 大安 喜一（ユネスコ･アジア文化センター 教育協力部部長）
19:55-20:00	クロージング 閉会挨拶 大安喜一(ACCU)

8. 実施体制

【主催】

文部科学省

日本ユネスコ国内委員会

公益財団法人ユネスコ･アジア文化センター(ACCU)

【共催】

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク(JGN)

9. 問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ･アジア文化センター(ACCU)教育協力部

担当： 若山、新井

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

電話 03-5577-2852 / FAX 03-5577-2854

Email education@accu.or.jp